

# さくらマネー通信 No.54

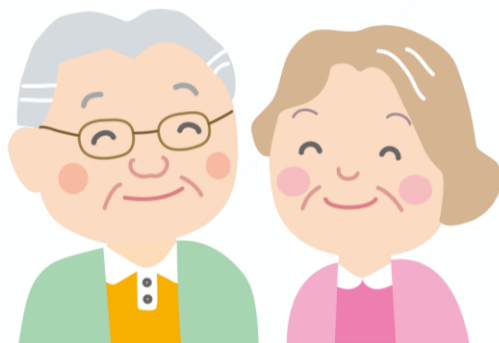
2022年  
1月号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

## 特集 年金改正、公的年金繰下げ受給が75歳まで可能に！

公的年金の受給開始時期が選べることをご存じですか？公的年金は通常 65 歳から受給できますが、受給開始時期は 60～70 歳までの間で選ぶことができました。それが 2022 年 4 月からは、60～75 歳とさらに広がります。そこでまず、公的年金の「繰上げ」、「繰下げ」についておさらいしてみましょう。繰上げ受給（65 歳よりも早く受給すること）の場合、1 ヶ月早めるごとに 0.5% ずつ（2022 年 4 月からは 0.4%）年金が減額されます。一方、繰下げ受給（65 歳よりも遅く受給すること）の場合は、1 ヶ月遅らせるごとに 0.7% ずつ年金が増額されます。そして、変更された増減率は一生続くこととなります。

例えば、年金額が年 100 万円の場合は、60 歳に繰上げて受給すると年 70 万円（2022 年 4 月以降は 76 万円）に減額。70 歳に繰下げると 142 万円、75 歳だと 184 万円に増額されます。税・社会保険料を考慮しなければ、70 歳繰下げ時は 82 歳以上、75 歳繰下げ時は 92 歳以上長生きすればメリットになります。ただし、繰下げをして年金額が高額になると、税・社会保険料が増えると同時に、医療・介護費の自己負担割合が増える可能性もあるかもしれません。総合的に考えて、検討する必要があります。



## ? マネークイズのコーナー

近年、転職は一般的なものとなっていますが、「転職は前向きな行動である」とイメージしている人の割合はどのくらいなのでしょう？

- 1 41.4%
- 2 52.9%
- 3 69.7%



（答えは裏面にあります！）

## 今月のお知らせ

1 月 16 日は、禁酒の日という記念日になっていることを知っていますか。1920（大正 9）年にアメリカで禁酒法が施行された日だそうで、それが遠い日本にも渡ってきて記念日になったそうです。記念日に倣って、お酒が好きな人も 1 月 16 日はお酒を控えてみるのも良いかもしれませんね。



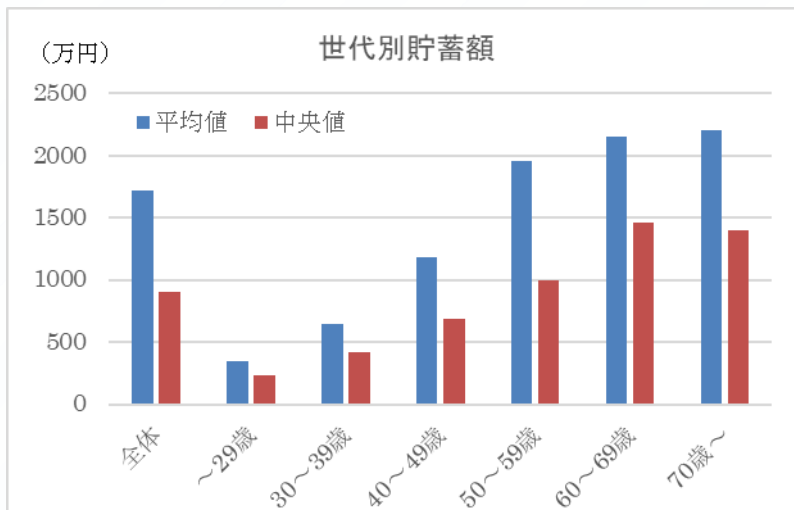
## コラム みんな、どのくらいお金貯めているの？

「2022 年はがんばってお金を貯めよう！」と計画を練っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？「でも、いったいみんなはどのくらい貯めているだろう？」と他人の懐もちよっと気になりますよね？そこで、今回は世代別の貯蓄額を見てみましょう。

「家計の金融行動に関する世論調査（2020 年）」によると、二人以上世帯の平均値は 1,721 万円でした。30 歳未満は 350 万円、30 代は 644 万、40 代は 1,177 万円、50 代は 1,955 万円、60 代は 2,154 万円、70 歳以上は 2,208 万円です。ただし、平均値は少数の資産家により数字が引き上げられることがあります。そこで中央値をみてみると…。全体では 900

万円となり、30 歳未満は 235 万円、30 代は 423 万、40 代は 686 万円、50 代は 1,000 万円、60 代は 1,465 万円、70 歳以上は 1,394 万円となります。

いかがでしょうか？なかなか貯まらない…という方は、自分の収支を確認し、今年はいくら貯めるのか、ぜひ目標をたててみてくださいね。



## A マネークイズの答え

正解：3

「転職は前向きな行動である」について「そう思う」が 69.7%、「そう思わない」が 7.5%。転職を前向きな行動と思う人の割合は年々増加してきています。



「転職動向調査 2021 年版（マイナビ）」より

## 編集後記

### 自動車保険料、2022 年以降値下げへ

自動ブレーキなどの先進安全技術の普及に伴って交通事故が減少していることを受け、保険会社が自動車保険料の目安としている参考純率が平均で 3.9%引き下げられました。これにより、2022 年以降、自動車保険料が値下げされる見通しです。実際の自動車保険の契約で保険料がどのように改定されるかは各保険会社次第です。ただ、全体の傾向としては値下げ方向となるでしょう。

発行

さくらコンフォートライフ

保険のこともお気軽にご相談ください。

お問い合わせは 090-1238-8418（鈴木）まで！

